

令和 6 年度 岡山県における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和 5 年度	令和 6 年度	計	令和 6 年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	418,106,567	129,186,457	547,293,024	81%	市町村が取り組む森林経営管理制度が円滑に推進されるよう、「市町村推進体制の支援」、「森林管理データの整備・活用」、「林業経営体の育成」に向けた支援等に充てる。
譲与額（円）	552,403,000	126,396,000	678,799,000		

■令和 6 年度の具体的な活用状況

区分	事業メニュー	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
市町村推進体制の支援	県と市町村との連携推進会議	221,316	221,316	県と市町村による森林経営管理制度に係る連携推進会議を常設し、市町村の円滑な推進体制の確保のため、課題解決に向けた検討や情報交換等を実施した。 ・連携推進会議 4 回
	市町村職員等研修	1,451,000	1,451,000	森林・林業に関する知識・技術の習得を目的に、市町村職員及び地域林政アドバイザー等を対象とした研修を実施した。 ・研修 4 回（延べ59名）
	市町村支援体制整備事業	33,990,000	33,990,000	森林経営管理制度を行う市町村に対して、技術職員の派遣、森林施業方法の研修などを実施した。 ・専門的人材の紹介 2 組 ・実務研修 13 回（延べ135名） ・市町村等の相談対応、技術支援 27 市町村
森林管理データの整備・活用	森林クラウドを活用した新たな森林管理システム支援事業	53,359,673	52,080,673	航空レーザ計測データを活用して資源解析した森林を対象に、地籍情報を基準とした森林計画図等を整備するなど、森林クラウドの精度向上を図った。 ・岡山市、津山市、勝央町、西栗倉村
	航空レーザ計測成果による森林資源解析事業	33,721,600	17,721,600	航空レーザ計測成果を活用して森林資源解析を実施し、森林資源及び地形情報のデジタルデータを森林クラウドへ登録した。 ・玉野市ほか13市町
林業経営体の育成	林業経営体代表者等育成事業	4,355,000	4,355,000	森林経営管理制度の受け皿となる林業経営体の代表者等を対象に、経営に対する意識改革及び職員の資質向上等に係る研修を実施した。 ・研修会 9 回（延べ52名）
	林業経営体提案型研修事業	100,000	100,000	林業経営体が自ら洗い出した課題を解決するために実施する研修を支援した。 ・研修 1 件（事業主体 1 者）
	林業経営体スマート林業支援事業	3,383,350	3,383,350	林業経営体に対する I C T を活用したスマート林業技術等の導入を支援した。 ・ 8 件（事業主体 7 者）
	林業技術研修環境整備事業	7,258,083	6,980,878	市町村職員や林業従事者等を対象とした林業技術研修機材等の整備を実施した。
	林業技術研修施設運営費	2,284,365	2,161,698	市町村職員や林業従事者等を対象とした研修を行うための林業技術研修施設の運営費
	林業技術普及指導費	1,208,261	1,208,261	市町村職員や林業従事者等への林業技術普及活動を行うために要する経費
県債元利償還費		5,532,681	5,532,681	林業技術研修施設整備に係る県債の元利償還
合計		146,865,329	129,186,457	

■今後の実施計画

引き続き、森林経営管理制度の円滑な推進のため、市町村への総合的な支援を実施する。